

### (3) 授業の質的改善のプロセス

#### イ B校の質的改善のプロセス(※B校所属の研究委員の実践です。)

授業の質的改善を図るために、以下の様な取組を行いました。

児童の実態を基に、目指す児童の姿を考えた。(6月)

算数科で育成したい資質・能力の面から、児童の実態を調査し、目指す児童の姿を考えました。

##### 知識及び技能

- ・立式だけで終わるのではなく、立式に至るまでの過程を大切にすることで、概念や性質に裏付けられた確かな知識及び技能を身に付けることができる。

##### 思考力・判断力・表現力等

- ・問題解決の方法を、図や式、言葉などで筋道を立てて表現することができる。

##### 主体的に学習に取り組む態度

- ・多様な考えを認め、他者と協働しながら、よりよく問題解決しようとする。

※目指す児童の姿は、新学習指導要領に関わる理論研究を基に考えました。

click



授業の質的改善に向けた取組スタート!

#### 1 今の授業をチェックする。【6月】

「授業振り返りチェックシート(一覧表)」で、各段階の目指す具体的な児童の姿を考え、自分の今の「授業づくりのステップ」をチェックしました。

#### 2 改善する段階を決定する【6月】

授業の質的改善に重点的に取り組む段階を決定しました。

「つかむ段階」と「学び合う段階(全体)」が【ステップ1】だなぁ。授業の質的改善に取り組んでみよう!

「つかむ段階」では、課題に意欲的に取り組む姿、「学び合う段階」では、図や式や言葉などを関連付けて筋道を立てて表現する姿を目指そう!



段階	授業づくりのステップ (□にイを入れ、自分のステップをチェックしてみましょう)	今のステップ
学び合う段階	【ステップ1】 「議論の中で自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、より良いものかや何が出来るように分けていけるか、言葉で説明出来るか?」 【ステップ3】 □「自分の考え、相手の課題にどう関わっているか?」	1
つかむ段階	【ステップ1】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」	2
学び合う段階	【ステップ1】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」	2
つかむ段階	【ステップ1】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」	2
学び合う段階	【ステップ1】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」	2
つかむ段階	【ステップ1】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」	1
学び合う段階	【ステップ1】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」 【ステップ2】 □「自分の考え、自分の考えを述べ、反論にこたえているか?」	2

B校の研究員による6月の授業の振り返り

※各段階で大切にしたいことは、授業の見直しと質的改善を図るための手立てで分かります。

click

**3 手立てを考える 【6月～7月】**

「段階ごとのチェックシート」の中から、自分の授業に取り入れたい「授業の質的改善の手立て・授業の質的改善の視点」を考えました。

【7月に取り入れた手立て（一例）】

<p><u>つかむ段階の手立て</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な題材から問題を設定する。</li> </ul>	<p><u>見通す段階の手立て</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表された見通しについて、その意味や妥当性を少人数で話し合う時間を設定する。</li> </ul>	<p><u>学び合う段階の手立て</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表された図や式のみを提示して解釈したり、関連付けたりする場を設定する。</li> </ul>
---	--	---

B校の研究員による自分の授業に取り入れたい「授業の質的改善の手立て・授業の質的改善の視点」

**4 手立てを取り入れた授業を行い、振り返る**

**5 繰り返し質的改善に取り組む 【6月～7月】**

「授業振り返り分析シート」に、改善を重点的に取り組む段階と「授業の質的改善の手立て・授業の質的改善の視点」を書き込み、それを取り入れた授業をしました。

授業をしたら、振り返りをしました。

【7月に行った授業と振り返り（一例）】

おこその体積		(7月)	
日	目指す具体的な姿	教師が取り組んだこと (実施したこと)	改善したこと・児童の反応
7/1	本時の課題に「ヤブミドリ」など意図的に取り組む気持ちをもち、	どちらのコップが多くジュースが入るか、子どもが迷う(考える)場面の設定。	子どもが課題に取り組む必然性を感じていた。反応がよかった。
7/2	これからの学習の姿に「このようにすれば解決できたよ」という解決の共通しをもつ	自分と部分を多量たり少量たりする円柱を見せて見せる。	前時で自分と円柱の大きさは同じではない、ということに基づき、実際の形の円柱の大きさを円柱に見せていることに気がついた。
7/3	友達の考えを解釈し説明することで全員が理解できる。	発表された図や式のみを提示して、解釈し、関連付けたりする。	友達の見解を解釈して説明することはできたが、一部の児童に限られていた。(ほとんどの時間) 二人でタイムでは、自分の考えを相手に説明したり、分かち合い、関連し、考えを深める姿が見られた。

B校の研究員による「授業振り返り分析シート」



【成果】・児童にとって身近なもので「どっちだろう？」と迷う問題を取り上げたことで児童の意欲が高まった！

【課題】・児童の言葉への価値付けができなかった。  
・根拠を問う発問が少なかった。



授業の質的改善に向けた 2 学期の取組

1 今の授業をチェックする。

【9月】

1 学期、授業の質的改善を図り、目指す児童の姿を育むことができたどうか、「授業振り返りチェックシート（一覧表）」で今のステップを振り返りました。

項目	目指す具体的な姿	達成度のステップ	今の
1	①自分の課題を「もてあらい」/「もてあらい」など準備的に行き始められる。	【ステップ1】 【ステップ2】 【ステップ3】	2
2	②自分の課題に「もてあらい」/「もてあらい」など準備的に行き始められる。	【ステップ1】 【ステップ2】 【ステップ3】	3
3	③自分の課題に「もてあらい」/「もてあらい」など準備的に行き始められる。	【ステップ1】 【ステップ2】 【ステップ3】	1
4	④自分の課題に「もてあらい」/「もてあらい」など準備的に行き始められる。	【ステップ1】 【ステップ2】 【ステップ3】	1
5	⑤自分の課題に「もてあらい」/「もてあらい」など準備的に行き始められる。	【ステップ1】 【ステップ2】 【ステップ3】	3

「つかむ段階」が【ステップ2】になった！でも「学び合う段階（ペア・グループ）」が【ステップ1】になってしまった。「学び合う段階（全体）」は【ステップ1】のまま。目指す姿にもっと近付くために、2学期も頑張ろう！



2 回目の「授業振り返りチェックシート」の結果から、2 学期も重点的に授業の質的改善に取り組む段階を、「つかむ段階」と「見通す段階」と「学び合う段階」に決めて授業の質的改善に継続して取り組むことにしました。

B校の研究員による9月の授業の振り返り

2 改善する段階を決定する

【9月】

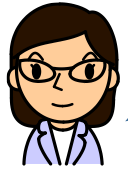
「つかむ段階」と「見通す段階」と「学び合う段階」に重点的に取り組むことにしました。

3 手立てを考える

【9月～11月】

【11月に取り入れた手立て（一例）】

つかむ段階	見通す段階	学び合う段階（ペア・グループ）	学び合う段階（全体）
<p>(エ) 身近な題材から問題を設定する。</p>	<p>(ウ) 解決の方法や結果について、全員で共有する前に、児童が一人で考えたり少人数で話し合ったりする時間を設定する。</p>	<p>(ア) 話し合う目的を明確にする。 (イ) 相手意識をもった説明の仕方を示す。 (ウ) 相手の説明に質問をしたり、意見を言ったりする場を設定する。</p>	<p>(ア) 発表された図や式のみを提示して解釈したり、関連付けたりする場を設定する。 (ウ) 授業のねらいに応じた視点を基に、複数の考えの共通点を考えたり、よりよい考えを検討したりする場を設定する。</p>



11月「比例」の授業で取り入れた手立てです。2 学期からは、段階ごとのチェックシートにチェック欄を設け、授業の質的改善に取り組んだ跡が分かるようにしていきました。

4 手立てを取り入れた授業を行い、振り返る

5 質的改善に繰り返し取り組む

継続して授業の質的改善に取り組む中で、  
少しずつ授業の様子が変容してきました。

【11月に行った授業の振り返り（一例）】

項目	【比例と反比例】	11月
授業の振り返り	授業の振り返りの手立てで、授業中の振り返る機会を設けた。	授業をしての振り返り
学びの振り返り	身近な題材から一袋の中にフッキー何枚入っているか数えはいて非問を	子どもの理解が深まった。算理に気づき、必然性もわかってきた。
授業の振り返り	解決の考えを少人数で話し合う	話し合いというより、観察を促して行った。
振り返りの振り返り	話し合いの目的を明確に（なぜ話し合いをするのか）→ 算理の理解と子どもの声の聞こえを促す。問題を提示して（よんでやる）→ ノートに指示を促して行った。共通点を話し合う（おれはどや）→ どの場合でも「割合」で表わすことができることを強調した。	

B校の研究員による「授業振り返り分析シート」

⇒ [B校の実践と変容](#)はこちらをクリック!!

click

6 目指す姿を育むことができたかどうかチェックする



各段階での目指す児童の姿が、見られるようになってきた！授業づくりのステップは、6月から授業の質的改善に取り組んできた成果が出たよ！  
これで満足しないで、3学期も授業の質的改善に継続して取り組んでいこう！

項目	【比例と反比例】	11月
授業の振り返り	授業の振り返りの手立てで、授業中の振り返る機会を設けた。	授業をしての振り返り
学びの振り返り	身近な題材から一袋の中にフッキー何枚入っているか数えはいて非問を	子どもの理解が深まった。算理に気づき、必然性もわかってきた。
授業の振り返り	解決の考えを少人数で話し合う	話し合いというより、観察を促して行った。
振り返りの振り返り	話し合いの目的を明確に（なぜ話し合いをするのか）→ 算理の理解と子どもの声の聞こえを促す。問題を提示して（よんでやる）→ ノートに指示を促して行った。共通点を話し合う（おれはどや）→ どの場合でも「割合」で表わすことができることを強調した。	

B校の研究員による11月の授業の振り返り



算数科で育成したい資質・能力が身に付いたか考察した。(11月)

算数科で育成したい資質・能力の面から、児童の実態を再調査しました。授業の質的改善に向けた取組を継続することで、算数科で育成したい資質・能力が身に付いたかどうかを、学習状況調査や学級担任の見取りにより考察しました。

⇒ [実践の考察](#)はこちらをクリック!!

click



授業の質的改善に向けた3学期の取組

3学期も続けて授業の質的改善に取り組んでいきました。